

2020年度第1学期「心理学史」の進め方について

健康科学部心理学科 古満伊里

皆さん、ようこそ「心理学史」へ。コロナウィルスの影響により2020年度の「心理学史」はMoodleを使用しての遠隔授業となりました。私自身まだこのツールに慣れていませんし、皆さんの中にもこのツールの使いこなしに対する不安もあるでしょう。おそらくお互いに試行錯誤しながらの授業になると思います。3回目の授業くらいまではいろいろと問題が出てくるでしょう。ま、そこは「あ・うん」の呼吸ということでお互いを責め合うことなく、つまり「固いこと言わずに」やってみましょう。

さてこの文章は、現時点で私が考えている授業の進め方をまとめたものです。実際に授業を始めてみると変更しなければならない点が出てくるかもしれません。その際は再度変更点をお知らせします。

では大まかに授業の進め方を述べていきます。

1. まず授業スケジュールです。次ページの授業スケジュールに沿って行います。この「心理学史」は原則火曜日・金曜日の3時限目(13:05~14:35)です。
2. 講義で使用する資料(ワード書類)は原則3日前にMoodle上で配布するので(「心理学史\_2020」クラス、既に皆さんの登録は済ませています)、各自で印刷してください。(第1週目は5月7日配信予定、すみません。)資料は以下に示す教科書の記述に沿ってまとめたものです。授業を受ける前に、教科書を参照しながら空欄( )を埋めておいてください。なお( )内には解答が記されています。ワードを操作して適当な色を付けるとそれを見ることができます。でも最初は解答を見ずに自分で埋めるようにしましょう。
3. ワード書類とは別に、教科書及び資料を解説した音声ファイルをアップします。資料を参照しながら聴いてください。
4. 授業時間の最後の部分で小テストを実施します。テストの開始は14時15分です。この時間には必ずMoodleにアクセスして小テストを受けてください。小テストは10問~15問、5択の簡単な問題です。その日の授業内容及び前回の授業内容に関連した問題が出題されます。(初回は5月8日(金)、でもネットワーク回線が込み合ってしまうかもしれない。その場合は別の課題を指示します。)
5. 成績評価は小テストの結果(70%) + レポート課題(30%)で行います。レポート課題については既にシラバスに記述しています。今から準備されても構いません。また小テストがうまく行かない場合には、別途レポート課題を課すことがあります。その際はMoodleに掲示します。
6. 質問等は以下のメールアドレスに皆さんのalphaメールアドレスからメールを送ってください。その際、件名の冒頭に【心理学史】と入れてください。ついていない場合は読まれない可能性があります。

[ifurumit@shudo-u.ac.jp](mailto:ifurumit@shudo-u.ac.jp)

7. 本講義のテキストは以下のものです。手元に置いておきましょう。

大山 正(著)「心理学史-現代心理学の生い立ち-」サイエンス社、修大生協

今年度はお互い手探りですが何とか付いてきてください。がんばりましょう。

以上

## 「心理学史」授業スケジュール

回	授業日	時限	小テスト	内容
第1回	5月8日(金)	3時限目	あり	心理学史の展望:現代心理学以前の心理学から現代まで
第2回	5月12日(火)	3時限目	あり	イギリス連合主義心理学:ロック, バークレイ, ヒュームの経験論哲学と心理学
第3回	5月15日(金)	3時限目	あり	感覚・知覚研究:色覚研究, ミューラーの特殊神経エネルギー説, ヤング=ヘルムホルツの3色説
第4回	5月15日(金)	3時限目	レポート課題(別途指示)	精神物理学と構成主義:精神物理学の歴史的背景とその影響, ウェーバー=フェヒナーの法則
第5回	5月19日(火)	3時限目	あり	心理学の独立:心理学の祖・ヴント心理学の体系とその後の心理学への影響
第6回	5月22日(金)	3時限目	あり	19世紀末の心理学:エビングハウスの忘却曲線, ブレンターノの作用心理学, アメリカ心理学の父・ジェームズの機能主義心理学
第7回	5月23日(土)	3時限目	あり	比較心理学:ダーウィンの進化論と表情研究, 動物研究と心理学
第8回	5月26日(火)	3時限目	レポート課題(別途指示)	個人差研究:知能の個人差, 性格の個人差
第9回	5月26日(火)	3時限目	あり	精神分析学:フロイトの業績, フロイト理論?, 精神分析学の影響
第10回	5月29日(金)	3時限目	あり	ゲシュタルト心理学:要素から全体へ, 仮現運動, ゲシュタルトの法則
第11回	6月2日(火)	3時限目	あり	行動主義:ソーンダイクの問題箱実験, パブロフの条件反射学, ワトソンの行動主義宣言
第12回	6月5日(金)	3時限目	あり	新行動主義:トールマン, ハル, スキナーの立場
第13回	6月9日(火)	3時限目	あり	認知心理学:行動主義への反省と認知心理学の展開
第14回	6月12日(金)	3時限目	あり	日本の心理学史:心理学の導入期から行動主義の導入まで
第15回	6月27日(土)	3時限目	あり	これからの心理学:ハブ・サイエンスとしての心理学

1. 5月23日(土)、6月27日(土)は大学指定の補講日となっています。小テストを実施します。
2. 5月15日(金)、5月26日(火)の授業には2回分の資料を配布します。ただし1回の授業時間内では2つの単元を済ませることができません。よって、一方の単元は課題研究授業とし、レポート課題を課します。この授業では合計3つのレポート提出が必要になります。テーマ、提出方法については追って指示します。